

顛末書

会議の名称	中野市北部地域小学校統合準備委員会 第2回地域・PTA部会
日時	平成29年3月22日(水) 午後6時30分～午後7時15分
会場	中野市北部公民館 会議室
出席者	参加委員 北部地域 地域・PTA部会委員 14名 (事務局) 教育次長、学校教育課長、学校教育係長、事務局職員1人
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部会長あいさつ 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第一回専門部会における質問事項に対する回答について (2) 今後のスケジュール等について (3) 協議事項の洗出しについて (4) 次回専門部会の開催について (5) その他 4 その他 5 閉会
主な質問・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ●PTA会則の中の「組織」についてはいつごろまでに決定するのか。 →今の段階ではいつごろまでと決まっているわけではないが、一番初めに取り掛からなければいけないところと考えています。 ●「組織」からまず取り掛かるということだが、学校ごとの規模によりアンバランスな部分が出てくるため、それだけをまず決めるのではなく、全体的にどういうPTAを作っていくか、どういう活動をしていくかなど、目的を含めながら考えていくべきだと思う。 →初めに取り掛かるとは言ったが、活動と役員というのが関わってくる部分なので一緒に考えていけない部分は出てくると思います。各地域の実情というのが分からないとできない部分があるので、各地区の皆さんに実情を聞きながら進めていければよいと思っています。 ●新しい学校やPTAを作るときに何が一番目標になっていくのかと考えたときに、会則の中の「目的」のところ重要になっていくのかなと思う。子どものためにPTA活動をやっていくという部分とそうでない部分があったので、目的をみんなで確認しあっていけばそれに向かってどうしていくかという形が出てくると思う。 ●PTAという考え方ではなく、PTCAという考え方を入れていけばよいと思った。CはCommunity、Childrenの意であり、PTAとコミュニティスクールを別組織で運営していくのではなく、一緒になって考えていくこともできると思う。 ●倭小でも考えたことがあってコミュニティスクールの支援活動は地域の方に頼っているだけで良いのか、地域保護者を区別するのではなくて子どもが卒業しても関わってきたいという人もいるときに、倭では4つ支援部を立ち上げて検討したところではあります。組織を見直す時に目的からしていくことも大事だが規制されている部分が外せないことが分かった。中学校との連携と考えた時に中学校との組織と小学校から反映されていくと一貫性ができていくので視野に入れながら検討していくことも大事だろうと思います。 ●PTCAという考え方もあると思うが、PTAはPTAでまとめた方が、全国的には主流かと思う。また、コミュニティとPTAがまるで別では困るが、つかず離れずで、第三者的にPTAの活動を見る位置にいたい部分もある。

	<ul style="list-style-type: none"> ●高社中学校やどこか一つの小学校をベースにして会則等を考えていくのも良いが、そうではなく4つの小学校を比べたときに、ここが一番わかりやすい、まとまっているなどがある程度選んだものを中学校とすり合わせしながらやっていったらよいと思う。 ●PTA 会則について、絶対に外せない規則やどの小学校も内容が変わらないものなどは事務局で作ってほしい。その他、各学校で必須事項でないような部分は、地域の特色ある活動なども考えながら決めていくという形をとってほしい。
<p>今回のまとめと 次回の検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●出された意見等について、今後検討していく。